Doc. No.	OSA 074U-08

yamada

ハンドグリースガン取扱説明書

（KH・CH・GC シリーズ）

1. はじめに

このたびは、ヤマダのハンドグリースガンをお買い上げいただき、厚く御礼申し上げます。
本書は、お使いになるハンドグリースガンが故障なく十分にその性能を発揮するよう、正しい使い方およびご使用上の注意について説明したものです。十分熟読し、ご理解いただきますようお願いいたします。
なお、環境保全のためメッキ処理が三価クロムメッキとなり一部変色のように見えますが、機能上は問題ありませんのでご了承願います。

2. 使用上の注意事項

ハンドグリースガンは、グリースを高圧で吐出します。自分の手または人に向かって吐出させると重傷となる恐れがあります。下記の注意事項を守ってご使用ください。

⚠ 警告

- ハンドグリースガンを使用する前に、給脂ノズル、給脂ホース、ネジ部等の損傷がない事を必ず確認してください。
- 給脂の際には保護メガネ、厚手袋（皮手袋等）を必ず着用してください。
- ハンドグリースガンの操作が重かったり、グリースが先端部から漏れたりする場合は、無理に押し込まず原因を取除いてから給脂してください。
- 万一、グリースが人体に貫入した場合や目に入った場合には、直ちに専門医の診察を受け、適切な処置をしてください。また、皮膚に付着した場合は炎症を起こすことがありますので、水と石鹸で十分に洗い流してください。

⚠ 注意

- 給脂箇所により、給脂中のノズルやホース内は高圧となることがあるので手を添えないでください。
- 給脂ノズルがホースの場合は、使用により劣化しますので 2 年毎に純正品と交換することをお勧めします。
- ご使用前にノズル先端キャップの緩みがないことを確認してください。
- 油筒のレバーまたはチェーンを引いた状態で、油筒内部を覗いたり、油筒先端を人に向けたりしないでください。

3. 仕様

製品番号	型　　式	全長 (mm) ※1	質量 (kg) ※1	油筒径 (mm)	容量(手詰) (mL)	カートリッジ (mL)	使用可能グリース (NLGI) ※2		吐出量/ ストローク (mL/st)	最大圧力 (MPa) ※3	標準 付属ノズル
							手詰	カートリッジ			
854654	GC-57K	371	1.55	φ57	500	400g(筒型)	No.2～3	No.2～3	1.0	50	CNP-2
854629	KH-120	232	0.51	φ38	140	85	No.1	No.0～2	0.6	20	HSP-1
854627	KH-35	290	1.11	φ59.6	400	210	No.1	No.0～2	1.0	25	HSP-1
854628	KH-32	412	1.27	φ59.6	200	――	No.1	――	1.6	25	HSP-1
854626	CH-400	368	1.29	φ59.6	――	420	――	No.0～2	1.0	50	HSP-2
854787	CH-650LL	401	1.30	φ59.6	550	420	No.1	No.0～2	1.0	80	CNP-1
854655	KH-16	241	0.44	φ38	140	85	No.1	No.1～2	0.4	10	CNP-2
854669S	KH-500S	368	1.30	φ59.6	550	420	No.1	No.0～2	1.0	50	CNP-2 SPK-3C

※1. 上記仕様の全長・質量はノズルを含みません。
※2. NLGI No.の適用範囲は目安となります。グリースの性状によっては適用範囲でも使用できない場合があります。
※3. 表示の圧力は CNP-2 チャックノズル使用時（CH-650LL は CNP-1）の最大圧力です。

4. 使用前準備と注意

4-1 準備

付属のノズルまたは純正オプション（ホース・ノズル）を、ハンドグリースガン本体のグリース出口（Rc1/8 メネジ）にネジ込んで取付けてください。グリースは、機種により説明にしたがって充填してください。

4-2 給脂

グリースニップル（グリースフィッティング）とノズルの先端をきれいに拭いてからノズルを接続し、レバーを往復させてください。正常に注入されていますと、ニップル付近の溝・隙間から古いグリースが押し出されます。給脂する量は機械の取扱説明書を参照するか、古いグリースが完全に押し出されるまでとします。給脂箇所によってはグリースが出ない場合がありますのでご注意ください。

4-3 保守・日常

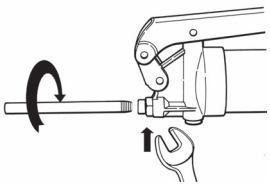
特別な保守点検は不要ですが、グリース内にゴミなどが混入しないように注意してください。また、給油口のニップルに泥・砂などが付着しないよう、ハンドグリースガンと共に確認・清掃してください。給脂の際、レバーの動きが重い（普段と比較して異常に強い力が必要）時には、ニップルを点検してください。

4-4 注意事項

最初に使用する場合、グリースが出にくいことがあります。その時は、必ずレバーを全開・全閉で操作してください。中途半端な操作では油筒内のグリースが吸引されません。

4-5 ノズルの交換

付属のノズルまたは純正オプション（ホース・ノズル）の取外し・交換をする場合は、ノズルの取付金具（本体部）をスパナで押さえて取外し、新たなノズルを取付け（交換）してください。



4-6 ニップルとノズルの接続

標準ノズル	ハイドロリックニップル	ノズルの先端をニップルに垂直に押し当てながら給脂してください。(Fig.1)
チャックノズル	ハイドロリックニップル	チャックノズルです。ニップルに垂直に押し込み、チャックさせてから給脂してください。ノズルをニップルから取外す時は、ノズルを傾け、内圧を抜いてから取外してください。(Fig.2)
ピンタイプ用	ピンタイプニップル	ニップルに垂直に押し込み、切り溝に沿ってニップルのピンまで完全にチャックをさせてから給脂してください。(Fig.3)
ボタンヘッド用	ボタンヘッドニップル	ホースの先端にチャックを横から差し込み、上部のネジを締め込んでから給脂してください。(Fig.4)

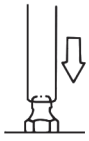


Fig. 1

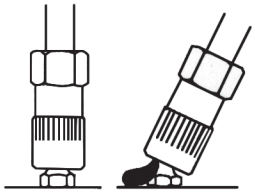


Fig. 2

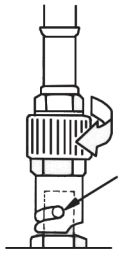


Fig. 3

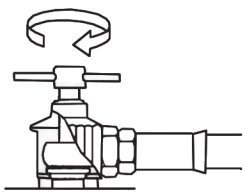
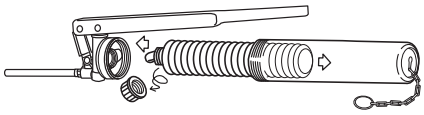


Fig. 4

5. 使用方法

グリースの充填方法

カートリッジ兼用タイプ



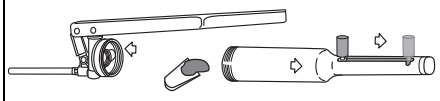
1. 油筒をネジ戻して本体より取外してください。
2. チェーンを引いて油筒底の溝にロックしてください。
3. カートリッジグリース（指定 mL）のキャップを外してから本体にネジ込んでください。

※カートリッジグリースを使用しない場合は、直接油筒にグリースを充填してください。この時、グリース内にエアやゴミが混入しない様注意してください。

4. 油筒を本体に取付けてください。
5. チェーンのロックを外し、油筒内に収納してください。
6. レバーを 2～3 回往復させ、本体に入っているテストグリースがノズルの先端から出るのを確認し、混ざりが無くなった状態で使用してください。

※グリースを直接油筒に充填して使用する場合に、レバーを操作してもなかなかグリースが出ないことがあります。これはグリース内のエアポケットが原因ですので、油筒を 1～2 回転緩め、エアを抜いてください。手詰容量は、指定容量以下で使用してください。

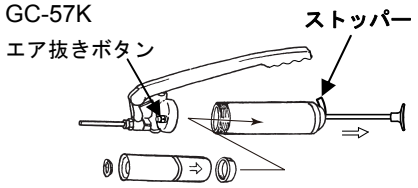
手詰専用タイプ



1. 油筒をネジ戻して本体より取外してください。
2. ハンドルを引いて油筒の少しくびれた箇所の切り溝にロックしてください。
3. ヘラを使って少量のグリースを取り、油筒の縁より静かに充填してください。（指定 mL）この時、グリース内にゴミ・砂や空気が混入しない様、充分に注意してください。一杯になりましたら 1～2 回油筒を軽く叩き混入したエア抜きとグリースを調えてください。
4. ハンドルをいっぱいまで引いて、油筒を本体に取付けてください。
5. 以上で充填完了です。補給も同様に行ってください。
6. 使用する時は、ハンドルを切り溝から外して、戻してください。
   スプリングの力でグリースが加圧されます。

※レバーを操作してもなかなかグリースが出ないことがあります。これはグリース内のエアポケットが原因ですので、油筒を 1～2 回転緩め、エアを抜いてください。手詰容量は、指定容量以下で使用してください。

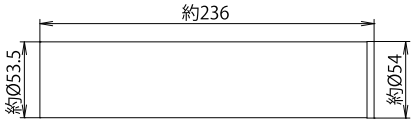
GC-57K



1. 本体と油筒をネジ戻して取外してください。
2. 手で油筒を持ち、もう一方の手でロッドハンドルを引いてください。ロッドは自動的にロックされます。
3. 筒型カートリッジグリースの両端のフタを両方とも取外し、大きい口の方（矢印の方）から油筒に装填してください。
4. 油筒を本体に取付け、ストッパーを押すと、ロックが外れます。
5. 以上で装填は完了です。交換も同様に行ってください。
6. 使用中に、まだグリースがあるのにレバーを動かしてもグリースが出ないときは、グリース内の空気が原因です。ロッドを前後に往復させ、本体のエア抜きボタンを押して、内部の空気を逃がしてください。

GC-57K 適用カートリッジ

規格：BS4507



油筒を本体に取付ける時に、強く締めすぎるとパッキンが変形・破損し、グリース漏れが発生する恐れがあります。
油筒内にグリースを充填した状態で保管すると、グリースが漏れ出る場合があります。

6. 純正オプションノズル

すべてのレバー式ハンドグリースガンに取付可能です。

分　類	製品番号	型　式	全長(mm)	質 量 (g)	用　途
マイクロホース 常用圧力 21MPa	850664	SPK-1C	355	141	ピンタイプフィッティング用
	850665	SPK-2C	375	180	ボタンヘッドフィッティング用
	850666	SPK-3C	330	83	ハイドロリックニップル用
	850478	SPK-1C/1M	1069	189	ピンタイプフィッティング用
	850479	SPK-2C/1M	1070	242	ボタンヘッドフィッティング用
	850480	SPK-3C/1M	1030	132	ハイドロリックニップル用
	850392	SPK-5	418	300	ハイドロリックニップル用
	850381	SPK-20C	377	320	ボタンヘッドフィッティング用
	851268	SPK-700E	705	160	ハイドロリックニップル用

※KH-16 に関して：マイクロホースをご使用の場合は、吐出部プラグを付替えてホースを組付けてください
なお、SPK-2C、SPK-2C/1M、SPK-20C を取付けることは出来ません。

7. グリースフィッティングの種類

■ ハイドロリック　ニップル
HYDRAULIC NIPPLE
JIS B 1575

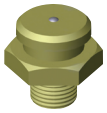
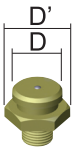
Aタイプ

Bタイプ

Cタイプ

一般的にベアリングや軸受け等の給油口に 最も多く使用されているのがこのタイプです。
ストレートタイプとアングルタイプがあり取付場所により選びます。

■ ボタンヘッド フィッティング
BUTTONHEAD FITTING

標準タイプ（D=φ15, D'=φ12）
大型タイプ（D=φ22, D'=φ17）

土木・建設機械などの給油口に多く使用されているのがこのタイプです。
ボタンサイズが大小あり、スライドして接続します。

■ ピンタイプ フィッティング
PIN-TYPE FITTING

農機・鉄道車両などの給油口に使用されているのがこのタイプです。
凹形状の内部に取付けられ、上部にフタがある場合もあります。

グリースフィッティングの頭部は JIS（日本）、SAE（アメリカ）、DIN（ドイツ）など各国共通ですが、弊社の製品は JIS の規格に合わせて製作しております。最近この規格に合わない寸法もありますので確認、注意が必要です。

8. 保証規定

1.保証期間： 製品を納入申し上げた日より起算して１２か月間といたします。
2.保証内容： 期間内に、正常なご使用及び適正な保管･保守をされたにも拘わらず、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、修復費用は全額負担いたします。ただし、二次的に発生する損失の補償は対象外とさせていただきます。
3.適用除外： 期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
(1) 構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
(2) パッキン、O リング、ホースなどの消耗部品。
(3) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
4.補修部品： 補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年とさせていただきます。5 年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL(03)3777-4101(代)	FAX(03)3777-3328
札幌営業所	〒062-0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号	TEL(011)821-0630(代)	FAX(011)821-0949
仙台営業所	〒981-3137 仙台市泉区大沢 2 丁目 2 番 3 号	TEL(022)343-9410(代)	FAX(022)343-9411
東京営業所	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL(03)3777-3171(代)	FAX(03)3777-6770
名古屋営業所	〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号	TEL(052)795-0222(代)	FAX(052)795-0444
大阪営業所	〒537-0025 大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号	TEL(06)6971-5301(代)	FAX(06)6974-0497
広島営業所	〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央 3 丁目 3 番 9 号	TEL(082)275-5852(代)	FAX(082)275-5853
福岡営業所	〒812-0888 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号	TEL(092)581-5477(代)	FAX(092)581-6524

201411 OSA074U